

学びのアップデート

令和2年10月20日
第3号
東京都教育庁総務部
教育政策課

「学びのアップデート」第1号では、WITH コロナ、ポストコロナにおけるオンラインを活用した学びとして、「今後のオンラインを活用した教育活動の例について」紹介しました。

本号では、第1号で紹介した例の中から、学校から離れた場所にいる講師や参加者をオンラインでつなぐ教育活動（資料1）について、2つの学校の実践事例を紹介します。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から教育活動の中止や延期を考える際、オンラインを活用することで、代替となる教育活動を実施することが可能となります。

資料1

今後のオンラインを活用した教育活動の例について

1 外部講師による授業



3 オンラインによる学習発表会



2 他校との合同授業



4 オンラインによる保護者会や学校説明会



都立光明学園の事例 「空間を超えてつながるオンライン」

都立光明学園そよ風分教室では、「合同遠隔社会見学」を行いました。子供たちは、国立天文台三鷹キャンパスから配信される天体の映像を見た後、天文台の方にリアルタイムに質問をしました。宇宙や惑星について専門家から詳しく学ぶことができました。合同遠隔社会見学は、国立天文台三鷹キャンパスのご協力のもと、全国六つの病院の子供たちが同時中継で参加しました。

子供たちの感想より

- ・「宇宙のことはまだ分からないことがたくさんある」ということがよく分かりました。
- ・質問に画像を付けて分かりやすく答えてくれたので、とても分かりやすかったです。



現在、美術館や博物館、企業の工場等では、オンラインを活用した見学を開催しているところがあります。オンラインを活用することで、コロナ禍や時間・空間的制約で直接現地に行くことができない場合でも、外部講師による授業や社会見学等の教育活動を実現することができます。

渋谷区立笹塚中学校の事例 「教育活動のハイブリッド化」

オンライン校内研修による教員のICT活用指導力の向上

渋谷区笹塚中学校では、アナログとデジタルを融合し「ハイブリッド化」した教育活動を昨年度3月より実践しています。臨時休業中の5月21日、オンラインで校内研修会を行いました。全教員が自宅から参加し、さらなる授業改善のために、コロナ禍のオンライン学習の取組について報告し合い、教員自身のオンライン活用についての理解が深まりました。

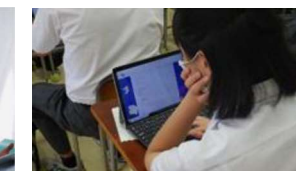
教員自身でICT活用の実践を積み重ねることにより、ツールにどんな機能があり、どんな活用ができるのかを体感することが大切です。学校全体で取り組むことで、教師に求められるICT活用指導力等の向上にもつながり、その結果、子供たちの資質・能力の育成につながります。



生徒会役員選挙 オンライン演説会&オンライン投票

MicrosoftのTeamsを活用し、一つの教室から各教室へ配信する形態で、生徒会役員選挙の演説会を実施しました。また、投票（アンケート）機能を活用し、オンライン投票を行いました。

選挙の前に、渋谷区選挙管理委員会事務局の方を招き、「本物の選挙」について、オンラインにて講話をいただきました。



演説会では、演説者は視聴覚室に集まり、大型モニターに映し出される様子を確認しながら演説を行い、その様子を各教室に配信しました。



本号で紹介した事例は、児童・生徒一人一台体制でなくても取り組めるものです。オンラインでの活用は密を避けるだけでなく、時間や場所を問わず教育活動が可能となります。